

サーベイランスデータに基づくわが国のPMLの疫学像 (2016年12月 - 2018年9月 データ)

研究分担者：自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門 阿江竜介

疾病登録件数：75例 → PML症例：36例

- 【発病年齢】 平均(SD)：62.5(15.3)歳，中央値：66.5歳
- 【性差】 男：16例 (44.4%)，女：20例 (55.6%)
- 【地域分布】 東京都：6例 (16.7%)，岡山県：4例 (11.1%)，
千葉県：3例 (8.3%)
- 【診断分類】 確実例：32例 (88.9%)，ほぼ確実例：3例 (8.3%)，
疑い例：1例 (2.8%)
- 【基礎疾患】 血液疾患：9例 (25.0%)，膠原病：9例 (25.0%)，
固形がん：7例 (19.4%)，人工透析：3例 (8.3%)，
HIV感染症：3例 (8.3%)
- 【死亡までの期間】 死亡者数：10例
死亡時年齢：平均(SD)：67.4(14.6)歳，中央値：68.0歳
発病から死亡までの期間：平均(SD)：22.3(11.3)週
- 【脳生検と剖検】
脳生検：18例 (50.0%)，剖検は3例 (8.3%)
- 【フィンゴリモド関連PML】
多発性硬化症：3例 (8.3%) うち全員にフィンゴリモド投与例
現時点ではナタリズマブを投与されていた症例なし

解 説

1. 当該期間中に75例の患者情報の提供があり，そのすべてを研究班内に組織された「PMLサーベイランス委員会」で詳細に検討した結果，36例がPMLと認定されデータベースに登録された。
2. 現在の登録症例数は36例といまだ少ないが，今後は疾病登録システムが整い登録症例が増えれば，より詳細な分析が可能になると推察できる。